元気をつくる。

MITSU VILLAGE



株式会社みつヴィレッジ
代表取締役　八百伸弥





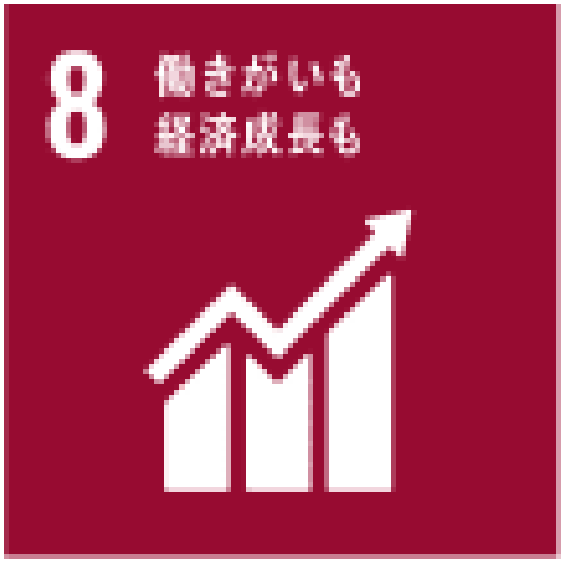
会社概要

会社名	株式会社みつヴィレッジ
設立	2014年10月
事業内容	農業事業（トマト・いちご・きゅうり等）
	コンサル事業
関連企業	株式会社網干造船所（親会社 創業79年）
	株式会社リバースヴィレッジ（カフェ＆物販）
	株式会社JAMPS（中小企業の農業参入支援）

Copyright© Mitsu Village Inc.

SDGｓ（農業の持続的発展に向けて）の取り組み







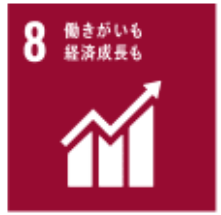
「儲かる」農業ビジネスモデルづくり（実践）および全国への普及（コンサル）

Copyright© Mitsu Village Inc.

背景

- 農業従事者は98.7万人（1990年は293万人）
- 日本の食糧自給率は38％（カロリーベース）
- 儲からないと、続けられない・継がない
- 給料が高くないと優秀な人材が来ない
- 慣行レベルの長期（180日以上）トマト栽培の化学農薬使用回数（兵庫県）は48回
- 食育（農育）や経済循環の勉強をしてきていない

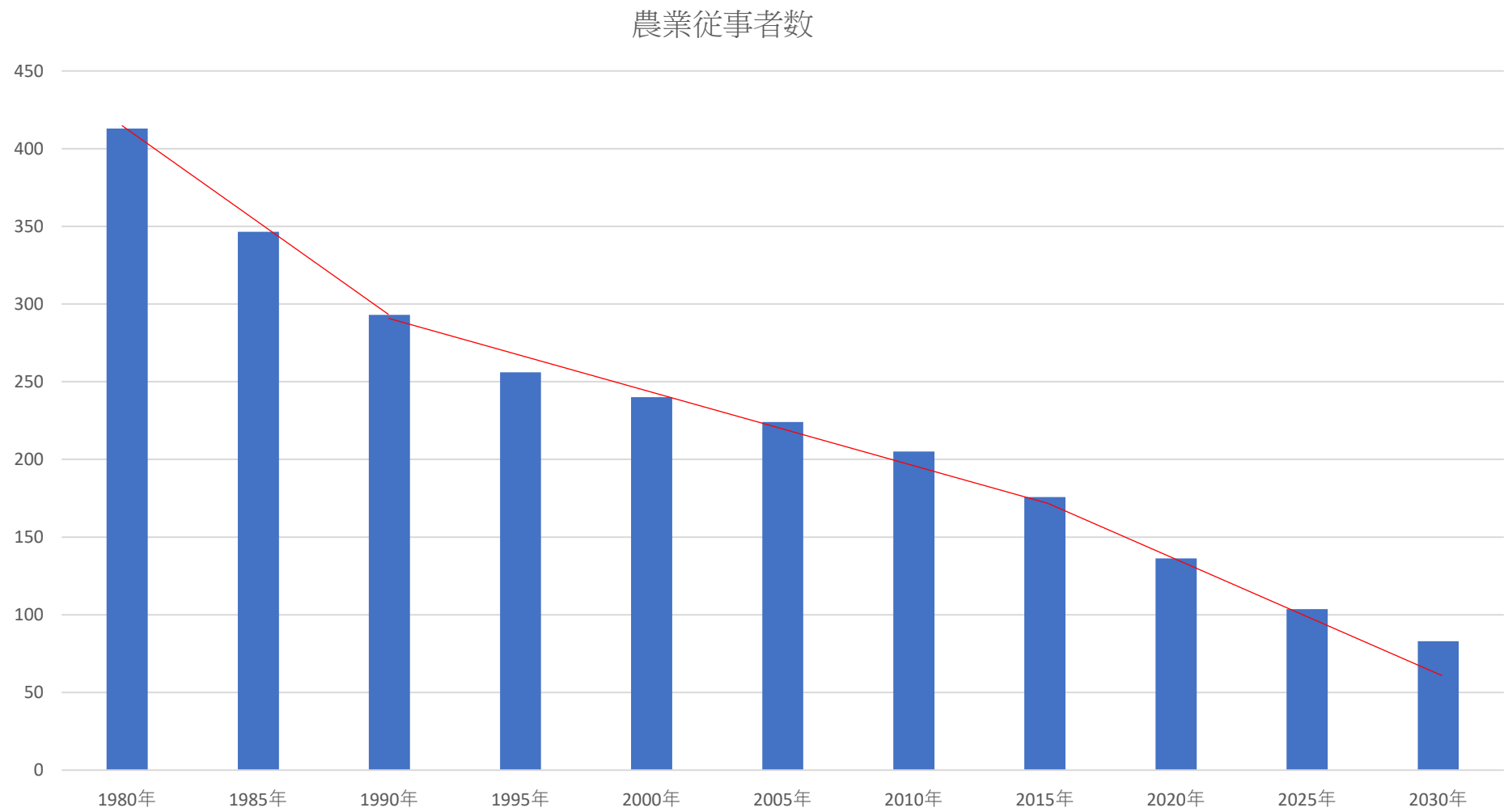






Copyright© Mitsu Village Inc.

背景



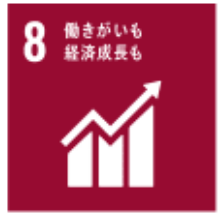
単位：万人	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
農業従事者数	413	346.5	293	256	240	224.1	205	175.7	136.3	103.6	83.0

Copyright© Mitsu Village Inc.

背景

- 農業従事者は98.7万人（1990年は293万人）
- 日本の食糧自給率は38％（カロリーベース）
- 儲からないと、続けられない・継がない
- 給料が高くないと優秀な人材が来ない
- 慣行レベルの長期（180日以上）トマト栽培の化学農薬使用回数（兵庫県）は48回
- 食育（農育）や経済循環の勉強をしてきていない

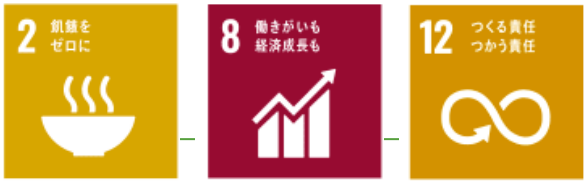






Copyright© Mitsu Village Inc.

取り組み内容



- 今後の担い手は企業（投資が可能）
- ITやマーケティングを活用して生産性向上
- 「大規模生産・広域商圏」→「高効率生産・地元商圏」
- 植物を元気に育て、できるだけ化学農薬に頼らない
- おいしくなければ買い続けてもらえない
- 売れ残りやB品 (割れなど) を使った加工品開発
- 農育や体験サービス（トマトやいちご狩り）

Copyright© Mitsu Village Inc.

取り組み内容





八百ちゃんトマト

ひょうご推奨ブランド

酵素を使い植物を元気に育て、農薬にできるだけ頼らない農法で栽培された「八百ちゃんトマト」は、「酸味」×「甘味」×「旨味」が凝縮された栄養たっぷり、昔ながらの野菜のトマト。

株式会社 みつヴィレッジ
Agricultural Innovation MITSU VILLAGE

品名： トマト

八百ちゃんいちご

ひょうご推奨ブランド

酵素を使い植物を元気に育て、農薬にできるだけ頼らない農法で栽培された「八百ちゃんいちご」は、甘味と酸味のバランスがとれた、香りのよいいちご（とちおとめ）です。

株式会社 みつヴィレッジ
Agricultural Innovation MITSU VILLAGE

品名：いちご

減農薬栽培 等

ひょうご推奨ブランド
HYOGO RECOMMENDED BRAND

元気をつくる。
MITSU VILLAGE

Copyright© Mitsu Village Inc.

取り組み内容

加工品の開発

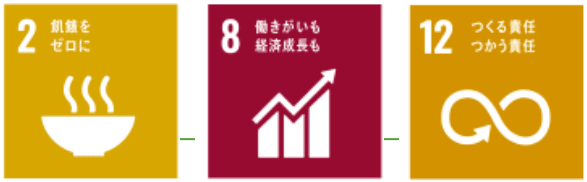


農育（ひめじ城育）



Copyright© Mitsu Village Inc.

最後に



「お金の向こうに人がいる」

「食料安全保障」は生産者だけでは解決できない

消費者が商品を買うことで、その作り手を応援

だから顔が見える農家にもつくる責任がある

その流れを長期視点で考え、未来に素晴らしい日本を

残すためにもヒト・モノ・カネ・仕組み

で支えていただきたい

Copyright© Mitsu Village Inc.